

銀賞

PM活動に目覚めた日から（明るく楽しい職場へ）

株式会社デンソー 西尾製作所

柴田 咲

私の職場は1300tの大型の成形機を使って樹脂を成型し自動車用エアコン部品を作っている職場です。昔から設備トラブルは、当たり前で何の疑問もなく仕事をしていました。8年目のある日、段取り途中でトラブルで設備が止まりようすを見たところ、クランプ動作途中で異常停止していました。今までどおり保全員を呼び部品交換してもらおうと思っていましたが、いつもとは違う保全員が修理に来たのです。保全員に「最後にグリスを注したのはいつ？」と聞かれ、咄嗟に「えっ！グリスを注さなければいけないの？」と答えました。壊れたら保全員に頼むことが当たり前で自分たちでメンテナンスすることをしていなかったもので、そんなことも知りませんでした。

ある日、班長に「保全と一緒にPM活動を休日にやるから出るか？」と聞かれ、私は「まあ、言われたからやるか」くらいの気持ちで了解しました。当日、最初に設備の中を掃除することになり自分では、綺麗だと思っていたのですが、細かい樹脂のカスや油汚れが酷いと保全員に言われてしまいました。今まで異常を異常と思わず、感覚が麻痺していたと自分が恥ずかしく、悔しい気持ちになりました。グリスも注さなければならない個所がたくさんありましたが、全てグリス切れで、いつ壊れてもおかしくない状況で、その他にも設備裏の油カスや架台下のゴミ清掃等やっても終わりが見えないうらい……。気が付けば設備1台で一日が終わっていました。片付けをしてもう一度、設備を見てみると同じ設備と思えないくらいの綺麗さに驚きました。そのとき、保全員から「これでしばらくは、異常はなくなると思うよ」と言われたのですが、本当かなと半信半疑でした。その設備は一日に5～10回のチョコ停が当たり前だったからです。しかし、次の日から言われたとおりに止まることなくスムーズに生産ができるようになり、いつもより30分も早く終わることができました。掃除とメンテナンスだけでこんなにも変わるんだと驚きました。これなら自分でもやれるとやる気が出てきました。他の設備も順番に清掃をやり、全部終わった後、保全員から「今回は、きっかけを作っただけだよ。これを保てるように定期的に活動することが大切だよ」と言われハッとしました。やり切れた達成感と成果が出た

うれしさに終わった気持ちでいましたが、これは当たり前のことで継続していくことが重要だと気づきました。そして、設備の整備を教えてもらった私を中心となって、職場の仲間や後輩に指導をして職場のPM活動を率先して行っていました。最初は、全員にやってもらうのに苦労しました。後輩からは「服は汚れるし、通常の作業ではないのに何でやらなければいけないの？」とよく言われ、心が折れそうなときもありました。「これは設備を守るための大切なことだから。これをやれば生産が早く終わるんだよ。」と説得して何とかやっていました。言われる度に申し訳ない気持ちになり、もう自分一人でやってしまおうかと考えていました。数週間後、また設備が汚れてきたから掃除しなきゃなと考えていたところ、後輩が自主的に設備の掃除をしてくれていたのです。私が「ありがとう」と声を掛けると後輩が「汚れていたのでも拭いただけですよ」と言ってくれ感動しました。自分が言わなくても自主的にやれるように職場に浸透してきたなど…。

あれから2年経過し、PM活動は盛んになり職場全体のチョコ停回数もずいぶんと減りました。あのとき、指導してくれた保全員からは「最近呼ばれることが少なくなったな」と言われ、そう言えばそうだなと。昔は月一位のペースで呼んでいましたが、最近ではめっきり少なくなったと感じ、今までやってきたことは意味があったと感じています。一番うれしいのは、全員が自然にやってくれることで維持できていることです。私でも職場のためにできることがあると思うと楽しくなり、皆で行うことが職場を明るく、楽しくして行くことだと実感しています。